

オープンアクセス方針の調査 と策定支援ツールの開発

平成28年5月26日

学術情報基盤オープンフォーラム Day 2 リポジトリトラック

「オープンサイエンス推進と大学図書館
～機関リポジトリ推進委員会の取り組み～」

帯広畜産大学附属図書館 三隅 健一

k.misumi@obihiro.ac.jp

本日の内容

1. オープンアクセス方針をめぐる動向
2. オープンアクセス方針の調査
3. 策定支援ツール
 - 方針のひな型, ロードマップ, フォローアップ

1. オープンアクセス方針をめぐる動向

京都大学

筑波大学

国際日本文化
研究センター

九州大学

東京歯科大学

徳島大学

名古屋大学

2015

2016

我が国におけるオープンサイエンス
推進のあり方について
(2015.4 内閣府検討会)

第5期科学技術基本計画
(2016.1)

学術情報のオープン化の推進
について (審議まとめ)
(2016.2 文部科学省)

2. オープンアクセス方針の調査

- 京都大学，平成27年10月7日
- 聞き取り項目
 - OA方針採択の経緯，採択後の動き
 - OA方針の設計（図書館の役割，対象範囲）
 - 運用体制
 - 研究者への働きかけ
 - 登録システムの構築

3. 策定支援ツールの開発

方針のひな型

- 趣旨, 目的
- リポジトリの登録, 公表の原則
 - 対象は在籍する教員の学術雑誌論文
- リポジトリへの登録 (教員は著者版を提出する)
- 適用の例外 (教員の申出により登録しない)
- 適用の不遡及 (策定以前の論文は, 適用対象外)

ロードマップ



フェーズ1 計画	- 検討プロジェクト立上げ - 他機関のOA方針の研究 - 運用体制の確認（人員＆技術面） - 策定・実施計画の作成	1～2か月
フェーズ2 方針案作成, 策定	- 方針案, 説明文書の作成 - 図書館委員会, キーパーソンへの説明 - 教員のコメント受付 <u>ポリシーの承認</u>	1～3か月
フェーズ3 プロモーション, 認知向上	- 複数媒体による学内周知 - 教員向け説明会の開催 - プレスリリースの発行 - ROARMAPへの登録	1～3か月
フェーズ4 実施	- 方針の実施 - 実施要領の作成, 学内周知 - 教員向けのFAQや登録サポート	1～3か月
フェーズ5 フォローアップ	- 利用統計の作成 - 対象論文の捕捉と登録の呼びかけ - モニタリング, 上層部への情報提供	継続

(The OpenAIRE guide for research institutions を元に作成)

フォローアップ

対象論文の捕捉・
登録の呼びかけ

説明ページ,
FAQ

モニタリング

登録の受付

適用の例外
の申請方法

教員の負担を
減らす方法は？

方針はどの程度履
行されているか？

まとめ

“ 「それを作れば、彼らはやってくる」

というせりふは今のところIRには当てはまらない。

Foster, Gibons. (2005) より多くのコンテンツをリポジトリに集めるために教員を理解する. D-Lib Magazine. 2005/1.

- OA方針で変わる点
 - 教員の関心, 積極性
 - リポジトリの学内の位置づけ
 - フォローアップの必要性